

## 臨床実習計画書

区分 <sup>i</sup>			
課目 <sup>ii</sup>			
細目 <sup>iii</sup>			
実習概要 <sup>iv</sup>			
一般目標 <sup>v</sup> (GIO)			
到達目標 <sup>vi</sup> (SBO)			
実習日時 <sup>vii</sup>			
時間 <sup>viii</sup>	時間	分	場所 <sup>ix</sup>
服装 <sup>x</sup>			携行品 <sup>xi</sup>
教材 <sup>xii</sup>			
研修資料 <sup>xiii</sup>			
学習課題 <sup>xiv</sup>			
評価方法 <sup>xv</sup>			
評価者氏名 <sup>xvi</sup>			
その他			
担当者氏名 <sup>xvii</sup>			
作成年月日 <sup>xviii</sup>			作成者氏名 <sup>xix</sup>

## 記載にあたっての注意事項

---

- i 診断・核医学・放射線治療のいずれか
- ii 一般撮影・透視診断・血管造影・CT・MRI・超音波・シンチグラフィ・PET・外照射・組織内照射等
- iii 胸部・腹部・骨・消化器・乳房・心臓等
- iv 実際の実習内容を記載
- v 期待される成果を表現したもので、複雑な概念を持つ動詞（例えば、理解する、適用する、評価する、修得するなど）用いて表現することが望まれる。
- vi 観察可能な具体的行動（実習者が何ができるか）を表現したもので、主語は実習者であり、説明する、使用する、判断する、指摘する、比較する、表現する、模倣する、実施する、測定する、操作する、動かすなどの動詞が用いられることが望まれる。また、1つの一般目標に対して数個～10数個の行動目標が望まれる。
- vii 実習日時（例 2007年9月3日（月）～7日（金）まで）
- viii 実習ののべ時間
- ix 実習の場所
- x 実習者の服装
- xi 実習者が携行する物品
- xii 教育者側が準備するもの
- xiii 学習課題や評価試験に関する資料について（資料名や保管場所等）
- xiv 評価するにあたっての課題
- xv 報告書提出・客観試験・口頭試験・論述試験・シミュレーションテスト・実地試験・観察記録等
- xvi 評価の担当者
- xvii 実習の担当者
- xviii 計画書の作成年月日
- xix 計画書の作成者